いにしえ人たちが遺した心の足跡…

仏像（ぶつぞう）・宝物（ほうもつ）

西部

Pick Up 不造太日如来坐像

【久昌寺】 県指定重要文化財

木造十一面観音菩薩像 MP3

引手神まったく地元を国鉄と休憩、目が光っているような玉眼など、中央系仏師の手になる。高さ1m、1300年前の作。ご開帳が決まったから、南北朝時代に本堂域で活躍した中央系の円派仏師「運円」の作と推定されている。【写真元】

久昌寺は、十一面観音菩薩像に見るとおり西会津町松尾高福寺とかかわりがあり、その隠匿寺とされている。南北朝時代から続く古刹である。地域には青面金剛をはじめとする庚申信仰の石塔（市指定文化財）も残されている。

Pick Up 神・弟子の彼作？

西会津町松尾高福寺の地蔵菩薩坐像（県重文）にも重要2体揃ってあり、これらは「円派」の作であることが松本に記されている。

Pick Up 清涼寺式釈迦如来

この釈迦は星屑がかったような目や、赤みをもち鋭、頭髪の前部が黒色っているなど他の釈迦如来像とは異なる京都系様（=三国伝来の霊像とされ、清涼寺釈迦如来像はその原型）の特徴が表現されている。

【大用寺】 県指定重要文化財

木造釈迦如来立像 MP3

この本尊は、1.56mの木像（寄木造り）釈迦如来像。京都清涼寺の釈迦如来像を模した、清涼寺式の釈迦如来像で現在では唯一の作例。鎌倉時代末～南北朝期の造像。【写真元】

北部

【泉福寺】 県指定重要文化財

木造大日如来坐像 MP3

優美な全体像やおだやかでやさしい表情のお顔とお身体力に定着した定朝様の造形をもつ、会津地方の在地定朝派（=定朝様式を模倣するグループ）の作品。また、県内の大日如来坐像としては最も古い。（県立博物館に寄託）【写真上】

コラム　寺社仏閣と周辺の景観

古い神社、仏閣や仏像のあゝ家などは、そこに連ゝ景観に歴史を感じ取ることを楽しむポイントの一つです。示現寺の正安の碑や、久昌寺の青面金剛にみられるように、時代や周辺にある石塔、小祠などもその寺社と密域（印象）をつくり、ポイントとなります。また、本尊の仏像は、周辺の景観にピッタリ存在つけて出せるのも知れません。

コラム　拝観

地域にある神様、仏様は全て、その地域に住む人々により、あがめ、ご崇拝、大事にと仰されてきたものです。神様や仏様は、ただ単に観る、のではなく、古今の時多の人々が祈り、願ったり、また無き人の願いを預かってきたこれら崇高さを感じ取って拝観するのが礼儀です。

【中善寺】 国指定重要文化財

木造薬師如来坐像 MP3

Pick Up 中央の定朝（ていちょう）様

本像は会津地方では手に入れにくい寄木造りで、制作技法（造り）は、ていねいで、丁寧な作業ぶりが、特徴的で、また、方面で造れ、会津地方に来はれてきたものと考えられる。いわば王統的な定朝様の仏像といえよう。

【示現寺】

木造千手観音立像 MP3

【写真上】【対立面】

Pick Up 彫の表現

腰の上下に切込を入れ、腰を明確にしているところに実風彫刻的彫り技がうかがえるとされる。

【龍泉寺】

木造阿弥陀如来坐像 MP3

応安2（1369）年の墨書銘がある。寄木造りで在地仏師の手になる造像。【写真元】

龍泉寺は、室町時代に作られた阿弥陀如来坐像が安置されている。龍泉寺のある中田町の集落は戦国時代まで大きな中世の城郭であったが、伊達政宗の侵攻により焼き払われて市は小荒田小田付に移されたとされる。【所有文化財】木造阿弥陀如来坐像（市重文、泉立博物館に寄託）

Pick Up 仏像の造立費用

御像の体内には、仏像造立（1229）当時の年号が入り、「造立主助阿弥陀仏 貴実代」と記されると、貴実が「僧の道立定助（法名）」であるなら、貴実のみなのかは判断できないが、中世の人々の古文書を通じて、「貴実」という名を見せ、十数と同様の例があり、それには、大体、貴実のではなかったことがある。約730年前の当地の人々は平安と多くの文化を通じ、貴実の御像をつくったことが、推測されるのである。

【福島寺】 県指定重要文化財

銅造聖観音菩薩立像 MP3

会津若松市宮川集神社の聖観音立像とともに県内でも最も古い。【写真元】

【勝福寺】 県指定重要文化財

木造不動明王立像・木造毘沙門天立像 MP3

【写真上】【対立面】

Pick Up 鎌倉時代

鎌倉時代を通じて、大場日の嘱に関われ、「定朝様式」の作品。本尊は、光背はこの手法の作品。また、本尊の光背はこの手法の作品。

【福島寺】 国指定重要文化財

木造阿弥陀如来坐像及び両脇侍坐像 MP3

Pick Up 鎌倉時代

この作品は、いろいろ、この作品の表情が一番大切（約6.8m）であったとされることから、この木々を下ろされた仏像を大広に呼ばれたりと、ただ、一度ただ去ることになれることから、この像のように約2.4m程度となる。

南部

【新宮熊野神社】 市指定重要文化財

木造薬師如来坐像 MP3

会津地方に111体紀代から定着した定朝様の流れを汲む力、お顔や衣紋の表出に会津在地の造形が現われるため、定朝様系の在地仏師の手になると見られている。カンヲ材の割彫が通じて平安時代末、12世紀後半頃の造像。【写真元】

コラム　太子守宗

江戸時代（より以前）、会津地方から新潟県北部にかけて「太子宗」という信仰があります。「太子」は聖徳太子のことで、この太子を不動明王の化身とみなし、「太子宗」は、「不動明王宗」とも言われています。

Pick Up 十二神将像

聖徳太子の「十二神将」の力のお姿（後ページ）は、「十二神将」の中の、特徴的なスタイルは十二神将像（後ページ）の特徴（特に、「十二神将」